

## 2025年度 淡海フィランソロピーネットワーク事業計画

淡海フィランソロピーネットワークは、「阪神・淡路大震災」の翌年、社会貢献活動について普及・啓発や調査・研究、情報交換・交流を行い、企業や団体が地域社会にとって魅力的かつ効果的な活動ができるよう、1996年3月に設立され、今年度末には30年目を迎えようとしています。

2024年度は、前年度に実施した淡海フィランソロピーネットワーク在り方検討会での検討をふまえ、既存事業の深化や他団体連携をより進めるため、部会の再編成により会員の参画の活性化を図りました。また、新たな会員企業・団体の参画を得ることもできました。

2025年度は、引き続き企業・団体の社会貢献活動セミナーや会員研修、チャリティバザー等をはじめとする既存事業の時代に合った形を追求しながら活性化を図るとともに、事業の見える化により周知拡大、ひいてはネットワークの拡大を図りながら、2026年度に迎える当ネットワークの30周年事業に向けて会員が一丸となって企画検討を進めてまいります。

これからもさらに組織力を高めていくことによって、会員企業・団体及び個人、県民にとって価値の高い活動を探求いたします。

### (事業方針)

- 「阪神・淡路大震災」を機に創設された団体として今一度会員企業・団体および関係者の災害時への備えについて学び合い、災害時を乗り越え、支えあう力を高めます。
- 本会の重点事業であるチャリティバザー「カレンダー」「手帳」市について周知を拡大するとともに、時代に沿った使途の在り方について検討をすすめます。
- 大学生および大学ボランティア・NPO活動センターとの事業を通じた協働により、これからの社会を担う若者とのネットワークの拡大を図ります。
- 2026年度に開催を控える30周年記念事業に向けて企画検討および会員拡大をすすめるとともに、プレ企画としてのトップセミナーを開催することで機運の醸成をすすめます。

## 1 社会貢献活動・ボランティア活動に関する普及・啓発

- (1) 子どもたちの環境・福祉学習支援のためのチャリティ事業の実施
- (2) 子ども食堂・シニアサークルなどへの出張講座の実施
- (3) チャリティイベント・地域イベント等でのブース出展
- (4) 「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」への参画推進
- (5) 滋賀県地域養護推進協議会への参画

### 重(6) 滋賀県災害ボランティアセンターへの参画

- ・ 会員企業の災害時体制強化
- ・ 災害時に支えあうネットワークの拡大

- (7) 社会貢献活動情報誌「そろふいあ」の発行 ≪滋賀県社会福祉協議会と共同≫
- (8) ホームページ・SNS運営による情報発信
- (9) 運営委員長表彰
- (10) 感謝状の贈呈
- (11) 各種委員会への参画



## 2 社会貢献活動・ボランティア活動に関する調査・研究

- (1) 災害ボランティア資機材リストの整備
- (2) 食品ロスを防ぐ観点からの子ども食堂・フードバンクとの連携

### 重(3) 環境保全ならびに障害のある方の就労支援の在り方検討

- ① ペットボトルキャップリサイクル事業
- ② リサイクルプランターリース販売事業



## 3 社会貢献活動・ボランティア活動に関する情報交換・交流

- (1) 会員研修・会員交流会の実施

### 重(2) 大学との連携・協働事業の検討

・「子ども食堂フェスタ」における協働

- (3) 会員拡大に向けた施策の検討
- (4) NPO等との交流会、他団体の研修への参加



## 4 研究会および講演会等の開催

- (1) 社会貢献活動についての実践報告と課題の学習
- (2) SDGsについての学習と情報交換

### 重(3) 企業・団体の社会貢献活動セミナー、トップセミナーの開催

・これからの災害における企業の役割について学ぶ

《滋賀県社会福祉協議会・滋賀県と共催》



## 5 会務の運営



- (1) 総会の開催
- (2) 副運営委員長・事務局幹事会議の開催
- (3) 運営委員会の開催
- (4) 部会の開催
  - ① チャリティバザー部会
  - ② セミナー・交流部会
  - ③ 他団体連携部会

### 重(5) 30周年事業に向けた検討

・プレ企画としてのトップセミナーの開催